**2018年版改訂規格学習の記録（ＦＳＭＳ審査員）**

**氏名**：　　　　　　　　　 　　　**登録番号\***：

|  |
| --- |
| **専門能力開発の分類**＊対応するJRCA F5120-09「専門能力開発実績記録」の項目番号を記述して下さい（例：項目番号４－②）。 |
|  |
| **2018年改訂規格に関する習得内容**＊2018年改訂規格の理解を示す内容を、以下の7項目に整理して記述して下さい（7項目×各300字程度、計2,100字程度）。 |
| **①他のMS規格との整合化、HLSの採用** |
| **②プロセスアプローチにおける2つのPDCAサイクル** |
| **③2つのリスクに基づく考え方の採用** |
| **④リーダーシップとコミットメントを示す責任の強化** |
| **⑤資源に関する、外部提供された要素、外部提供者の要求事項の明確化** |
| **⑥ハザード管理計画におけるOPRPの要求事項の明確化** |
| **⑦改訂規格の活用、自身の対応**＊改訂規格の活用、審査での留意点等について、ご自身の立場（審査員／組織の管理者等）で記述して下さい。 |

**【備考】　2018年版資格移行のためのCPD記録作成方法について（FSMS審査員）**

FSMS審査員（審査員補、審査員、主任審査員）の方で、ISO 22000:2018年資格への移行を、JRCA登録ISO 22000差分研修／MS認証機関内での研修ではなく、“一般研修への参加”又は“自己学習”による「継続的専門能力開発」（CPD）によって申請される場合は、規格改訂の目的や主要な変更点等の理解に関する、以下の7項目（①～⑦）について、学習された内容をレポートとして提出してください。

============================================================================================

**【ISO 22000:2018　理解のポイント】**

①他のMS規格との整合化、HLSの採用

②プロセスアプローチにおける2つのPDCAサイクル

③2つのリスクに基づく考え方の採用

④リーダーシップとコミットメントを示す責任の強化

⑤資源に関する、外部提供された要素、外部提供者の要求事項の明確化

⑥ハザード管理計画におけるOPRPの要求事項の明確化

⑦改訂規格の活用、自身の対応

============================================================================================

このレポート提出の場合の必要なCPD記録は以下の２つです。

1)「専門能力開発実績記録」（JRCA F5120-09）：

研修参加／自己学習等の分類に従って、研修会名称／書籍名等、日時、実施時間を記述してください。研修参加の場合は、プログラム写しを添付してください。

2) 移行専用の「2018年版改訂規格学習の記録（FSMS審査員）」（JRCA F5120-09C）：

上記の7項目すべてについて、それぞれ300字程度（計2,100字程度）で、改訂規格に関する学習内容を記述してください。

\*：新規申請の場合は空欄で提出してください。

以上